

(第2号様式)

真和志第2571号
令和6年3月12日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立真和志高等学校
校長 屋宜宣安
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月18日(火)	本校会議室	評議員5人中5人出席
第2回	令和5年12月18日(月)	本校会議室	評議員5人中5人出席
第3回	令和6年2月19日(月)	本校会議室	評議員5人中4人出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①各学期における教育活動報告(生徒の活躍・進路指導状況・生徒指導状況等)に対する意見・助言
- ②学校経営ビジョンに対する意見・助言
- ③授業観察
- ④学校評価アンケートへの指導助言

3 学校評議員の意見

- ①学校アンケートにおける結果(そう思わない)を改善できるよう取り組んで欲しい。
- ②普通科改革の見通しをもちながら、ポジティブカードをもらった生徒の表彰等も検討して欲しい。
- ③中途退学対策が丁寧に対応されている。生徒の相談窓口としてTemasを活用してはどうか。
- ④病弱生徒のICT活用は、とても有難い取組みである。成長を促す生徒指導を高く評価する。不登校の生徒の声を聞く工夫や特別支援が必要な生徒に対する目に見える支援方法を研究して欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ①全職員の生徒への挨拶や声かけ、励ましなど、対話を重視した「寄り添う指導」の実践により、指導件数が減少した。また、校則(透明ピアス)の見直しも行った。
- ②サポートルーム「和」の積極的・効果的な活用や、学校内外の支援機関との連携及び生徒支援ケース会議を行い、いじめ問題や不登校への対応を強化した。
- ③タブレットを活用した昼学(すらら)や、保護者連絡アプリ(スクリレ)の活用によるICTの推進を行った。
- ④県教委が主体となった「ゆい教室」の研究検証を進め、共に学んだ第一期生が卒業した。

5 課題その他

- ①校長による学校経営ビジョンの達成に向けた取組の定着・強化。
- ②学校アンケートにおける検証方法の工夫改善。
- ③さらなる人権意識の高揚と、生徒の自己肯定感を高める指導の推進。
- ④ICT機器を活用した授業や生徒支援方法の工夫改善。